

## 松本市音楽文化ホールの改修が完了しました。



メインホール全景



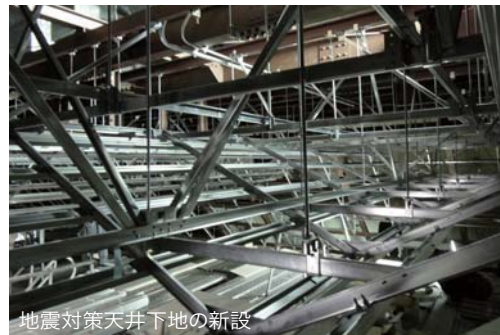
既存躯体の補修



鉄骨下地の新設

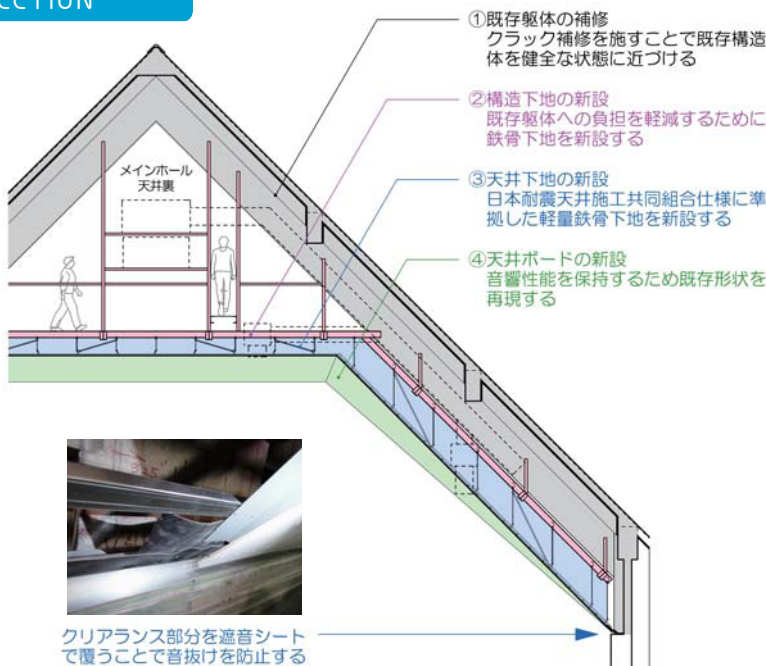


モックアップによる椅子の吸音試験



地震対策天井下地の新設

## SECTION



## CONCEPT

### 日本を代表する音楽ホールの損傷

弊社設計の松本市音楽文化ホールは、サイトウキネンフェスティバルをはじめとし、竣工後25年の長きに渡って、そのすぐれた音響性能が市民と演奏家に愛され続けています。平成23年6月30日に発生した長野県中部地震は、松本市を中心とした震度5強の直下型地震であり、メインホールの天井にひび割れが生じるという被害を受けました。幸いなことに、天井自体が落下するような大惨事は免れましたが、音楽ホールの命である音響性能に影響を及ぼす大きな傷を負ってしまいました。天井下地の一部にも破損が見つかり、そのまま使用するのは危険な状況でした。

### 音響性能を守る改修設計

改修設計においては、大きくふたつのテーマが掲げられました。ひとつは、残響2秒の豊かな響きを取り戻すこと。もうひとつは、天井の耐震性能を向上させることです。しかし、このふたつの性能は建築的に相反するところがあり、双方を高いレベルで両立させるためのバランス感覚が求められました。新しく設けられた天井は、二重下地構造とすることで、耐震性能を飛躍的に向上させることができました。また音響性能については、施工途中で音響測定試験等を何度も実施し、常に十分な成果が得られているかどうかのチェックを繰り返しました。結果として、2秒超の豊かな残響を再現しつつ、音自体がより明瞭に聴こえるようになったとの評価を得ることができました。

## DATA

敷地面積	13,100.37㎡
建築面積	4,021.74㎡
延床面積	4,386.98㎡
建ぺい率	30.69% (許容 60%)
容積率	33.48% (許容200%)
構造・規模	RC造一部SRC造 地上2階
最高高さ	22.64m
軒高	8.10m
階高	3.9m
天井高さ	15.3m (メインホール)
主なスパン	7.2m×7.2m
設計期間	2011.10~2012.03
工事期間	2012.06~2013.02
音響設計	永田音響設計

## TOPICS

**音文主ホール 再開祝う調べ**

「昨年6月の松本轟火で被災し、主ホールの大規模改修が行われた松本市内の市音楽文化ホールで24日、正式オープン前の記念コンサートが開かれた。再開を待ち望んでいた市民ら約500人が訪れ、会場全体に響き渡る美しいハモニーに涙した。4月2日の本格使用を前に開いた。音文ホール専属オルガニストの保田紀さんのパイプオルガンと松本交響楽団が合奏した。松本と関わりの深い音楽家のトランペットやリコーンバに保田さんとの合奏もあった。

平成25年3月24日、リニューアル記念コンサートが開催されました。市民を中心に満員の観衆を集め、改修以前の美しい響きがよみがえったと喜んでいただきました。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>